

a la carte.

2024.6

あらかると

449



住み続けたい街 桑折町

住み続けたい街 桑折町

東北中央道が開通し、伊達桑折IC、桑折JCTなど交通の利便性が高まることで「住みこちのいい街」、「住み続けたい街」として人気のある桑折町。仙台藩伊達氏の発祥の地で、皇室に献上される献上桃の産地としても有名ですが、子育てしやすい行政サービスや話題の新しい施設もでき、いま注目されています。



▲桑折桃源郷

桑折の歴史

現在は果物の生産が盛んで、りんご・桃・柿などの産地として知られ、りんご「王林」は桑折町が発祥の地です。さらに桑折町産桃「あかつき」は、平成6年以降、毎年皇室への献上品として選ばれるほど高品質な桃として多くの人に愛されています。

古くは奥州街道と羽州街道が交わる要所として栄え、江戸時代半ばには養蚕業が盛んになり、昭和初期には郡是製糸株式会社(現在のグンゼ株式会社)の製糸工場が進出。多いときで約500名の従業員が従事しました。特に重要な生産の担い手とされたのが「女工さん」と呼ばれた女性従業員たちで、工場内には「家政女学院」が設置され教育の機会も与えられました。昭和22年には昭和天皇もご視察され、その記念に植樹された多行松は現在も保存されています。

昭和36年に桑折の郡是製糸が本宮工場と併合されたあとは、福島蚕糸販売農業協同組合連合会が移転して使用していましたが、平成15年には

解散し、その後建物も解体。平成21年に町が土地を取得し、東日本大震災以降、応急仮設住宅や災害公営住宅、蚕糸記念公園などの整備を進めてきました。令和3年には、この福島蚕糸跡地利活用の最後の総仕上げとして、商業施設を核とした「交流」と「子育て」などの機能をもち、まちの顔となる複合施設の整備が官民連携により始まりました。



▲郡是製糸



▲あかつき

複合施設 momomo KOORI

福島蚕糸跡地に整備を進めてきた複合施設が2024年3月にオープン。施設名は特産品の桃をモチーフに、「食『も』自然『も』楽しめる。大人『も』子ども『も』楽しめる。平日『も』休日『も』楽しめる」がコンセプトとなっています。敷地内にあるグランピングやオートキャンプを楽しむことができるアウトドア施設「グランケット桑折」では、施設の木材を桑折町産の間伐材を活用しています。グランピングエリアにはキャビンタイプ2棟とドームタイプ3棟、キャンプエリアには電源付きのオートサイト5区画などを設けています。スーパーマーケットいちい桑折店が隣接しているので食材の調達もしやすいうえ、BBQや地元食材の品揃えが充実。用具もレンタルできるため、手ぶらでBBQやキャンプが楽しめます。また、カフェも併設され、休憩や自習、コワーキングスペースなどを含むパブリックスペースもあり、コンセプトどおり平日も休日も楽しめる施設になっています。来春には認定こども園も開園予定です。



桑折町の魅力

桑折町では独自の行政サービスとして、「18歳までの子どもの医療費の助成」や「幼稚園・小中学校給食費の無償化」など子育て支援に力をいっています。屋内温水プール・多目的スタジオ「イコーゼ!」では小さなお子さんから大人まで利用できる温水プールやプレイルームがあり、遊びや交流の場としても活用されています。また、小中学生を対象にした参加費無料の学習塾を町教育委員会で開催をしていて、教育のサポートをおこなっています。

移住・定住促進のための住宅支援もあり、のどかな自然と寄り添いながら、赤ちゃんからお年寄りまで充実した「ゆったり、あたたかな暮らし」を満喫できます。町民の人柄のよさも魅力のひとつです。ぜひ、桑折町にお越しください。



桑折町子育て情報誌



公式LINE



Instagram



桑折町役場

